

研究課題名

膵癌における腹膜洗淨細胞診と術前化学療法の意義に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日から2020年12月31日までの間に当院で膵癌に対して手術を受けた方を対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

周術期化学治療が始まったことで、膵癌治療は大きく変わっています。我々は周術期化学療法によって腹腔洗淨細胞診の意義や予後について変化があったか否かを明らかにすることを目的としています。

研究デザイン：後ろ向きコホート研究

想定症例数：394例

主要アウトカム：生存率

副次アウトカム：再発率、予後予測因子の抽出、腹膜播種とCYとの関連など

データの収集方法：電子カルテからのデータ抽出

統計・分析方法（概略）：ロジスティック回帰分析

予想される結果（概略）：腹水細胞診陽性は予後不良

研究期間は2021/11/30（実施承認日）～2022/10/31

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、手術情報、病理情報、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学医学部医学系研究科 消化器外科学

病院助教：田中伸孟

住所：〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話番号：052-744-2249